

デーリー東北ホールで行われた
八戸学院大短期大学部ライフデ
ザイン学科の移動講義



八学短大ライフデザイン学科 本社ホールで移動講義

新聞記者の仕事や 観光の現状など聞く

八戸

八戸学院大短期大学部ライフデザイン学科の移動講義が28日、八戸市のデーリー東北ホールで行われた。「観光概論・観光地理」を担当する田中義弥講師と1年生13人が参加。デーリー東北新聞社編集局報道部の水野大輔次長と田中周菜記者から、新聞記者の仕事や青森県南地方の観光の状況について話を聞いた。

学生からは「どうやって情報を集めるのか」「今まで大変だった仕事は」「聞きづら

いことをスムーズに聞き出すコツは」といった質問が寄せられたほか、南部町の観光農業に関するリポートが紹介され、観光担当の記者の視点でどのように感じたかについて、学生たちが耳を傾けた。

講義に参加した相前祐希さん(18)は「前から新聞は読んでいたが、今回新聞社の仕組みが分かって良かった。地元にいると気付かないが、この地方にはたくさん観光資源があることを改めて認識した」と話していた。

(岩村雅裕)